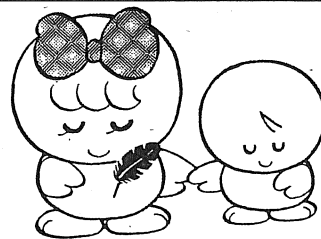


地域の福祉、みんなで参加 赤い羽根共同募金



平成20年度募金総額
1,208,281円
 ご協力ありがとうございました

種別	件数	金額
戸別募金	1,372件	680,910円
街頭募金	1件	26,753円
大口募金	26件	126,000円
法人募金	39件	196,800円
学校募金	2件	11,897円
職域募金	7件	142,680円
その他の募金	12件	23,241円
合計	1,459件	1,208,281円



湯前中学校生徒街頭募金の様子



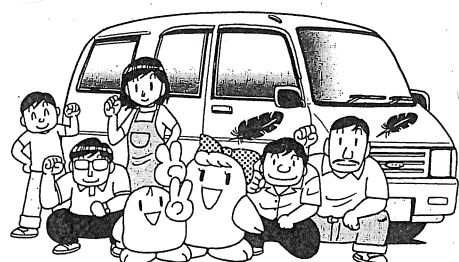
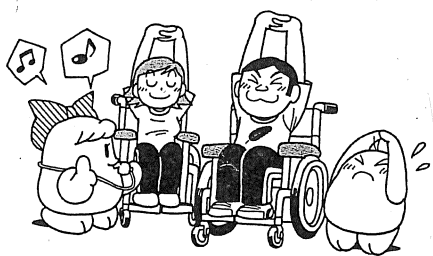
ありがとうございました

共同募金会湯前町分会では、10月1日から12月31日までの3ヶ月にわたり赤い羽根共同募金活動を行いました。町民の皆様の協力と、事業推進委員（区長）、各種団体、商店街、企業等のご協力により、たくさんの募金をお寄せいただきました。お陰をもちまして、募金目標額を達成することができました。ありがとうございました。

この募金は熊本県共同募金会へ送金し、その後、社会福祉協議会や社会福祉施設へ配分金として交付され、地域福祉の充実のため役立てられます。

湯前町社会福祉協議会でも、老人福祉や障がい者福祉、児童福祉、福祉育成のための事業等に役立てていただきます。

一人ひとりの優しさは社会の資産です。地域で支えあう活動の一つとして、赤い羽根共同募金活動にご理解をいただければ幸いです。今後ともご協力をお願いいたします。





集めています

みなさんのご家庭や勤め先で「使用済み切手（古切手）」や「ペットボトルキャップ」が捨てられていませんか？

湯前町ボランティア連絡会では、使用済み切手、使用済みプリペイドカード、ペットボトルキャップなどを集める「収集ボランティア活動」を進めています。

これらを集めて回収団体へ送ることにより、さまざまな福祉活動を支援しています。例えば、使用済み切手などは、しおりや古切手セツトとしてバザーで販売されたり、収集家へ買い取ってもらいます。換金されたお金は、海外で医療活動をされている団体や障がいについて正しい理解を進めるための活動など、国内外の福祉活動のために活用されています。

また、ペットボトルキャップ収集活動では、キャップのリサイクル対価を寄付することで、世界の子どもたちにワクチンを届ける活動を支援しています。

小さな気づきを身近なところからはじめてみませんか？ みなさんのあたたかいご支援とご協力をお願いいたします。

◆左記の物を集めています。
使用済み切手・使用済みプリペイドカード（テレホンカード、交通カードなど）・書き損じハガキ・ベルマーク・ペットボトルキャップ

※使用済み切手は、周りを1センチ残して切り取ってください。ペットボトルキャップは洗っ

て下さい。プリペイドカードは折れ曲がついていないものを集めています。

◆問合せ先・回収窓口

湯前町社会福祉協議会内 湯前町ボランティア連絡会

◆ご協力ありがとうございます

○ファミリーマートしいば 様

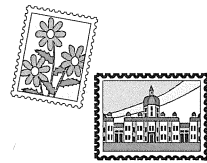
○湯前小学校 様

○湯前町役場 様

○白川 様（上里1区）

○丸山 様（上里2区）

○その他、収集ボランティアの皆様



人権・行政・心配ごとと合同相談

人権・行政・心配ごとと合同相談を開催いたします。

1 日時 平成21年2月26日（木）

2 場所 湯前町保健センター

3 相談員

人権擁護員

吉村 朋子
恒松 高續

山中 弘子

小林 一二

福田建一郎

右田 秀美

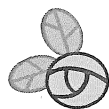
心配ごと相談員

行政・心配ごと相談員

行政・心配ごと相談員

今回、九州財務局「多重債務相談窓口」相談員の方が来られます。特に借金のご相談のことでお悩みの方はご相談ください。

その他に家庭内のこと、借地借家、相続遺言、人権問題、金銭問題、いろいろな心配ごとや困りごと・悩みごと等、どなたでも相談できます。お気軽にご相談ください。秘密は固く守られ、相談は無料です。



マグカップづくり 卒業の思い出

2月3日、小学6年生（51名）が卒業の記念にマグカップづくりを行いました。

このマグカップづくりは、共同募金配分金事業として、小学校を卒業する児童の皆さんに記念品を作ってもらおうと毎年行っているものです。老人クラブの陶芸部会から講師として10名に参加いただき、2クラスに別れて熱心に指導していただきました。

子どもたちは、最初こそ周りをキョロキョロして戸惑っていたものの、時間が経つにつれ、我を忘れてマグカップづくりに集中していました。仕上げにハートマークや星形の飾りをつけたり、インシヤルを掘ったりと個性豊かな素晴らしい作品がたくさん出来上がりました。なかには、いつのまにかツボが出来上がった子どももいました。

小学校生活も残りわずかですが、思い出に残るよい卒業記念品が作れたのではないのでしょうか。

